

かがやき No.1

静岡県立浜北特別支援学校
令和7年度学校だより
令和7年9月12日発行



ホームページ更新中



「夢」への挑戦 ～友と輝き、地域に生きる姿～

グラウンドに立つ謙信さんは、甲子園を目指す連合チームの大切な仲間として、誇らしく堂々とした姿を見せていました。

「浜北特別支援学校 旗手 池田謙信くん」

草薙球場にアナウンスが響いた瞬間、スタンドから大きな拍手が沸き起こりました。それは、謙信さんの

校長 八幡 正信 挑戦に対するエールであると同時に、浜北特別支援学校の存在そのものが球場全体に温かく受け入れられた瞬間でもありました。そこには「障害」という言葉はなく、一人の球児として仲間と肩を並べる姿だけがありました。バックネット裏からその光景を目にした私は、言葉にできないほどの感動に包まれ、気付けば涙がとめどなく頬を伝っていました。

本校のスローガンは「友と輝き、地域に生きる（自立）」です。児童生徒一人一人が個性（強み）を輝かせ、仲間や地域と豊かに関わり、達成感や喜びを積み重ねながら、地域で主体的に生きる力を育むことを目指しています。今回の謙信さんの挑戦は、まさにその理念を体現してくれました。

最後に、テレビの取材で謙信さんが語った言葉を紹介します。



「先生方や地域の方々や友達、応援してくれた方々に感謝したい」

この「感謝の心」こそ、人と人を結び、絆を広げていく源であると私は信じています。これからも浜北特別支援学校は、子どもたちの「夢」と「共に生きる社会」を実現していくために歩みを進めます。そして、その歩みを地域の皆様と共に続けていけることを願っています。どうぞ

これからも温かい御支援と御理解をお願いいたします。

※子どもたちの活躍の様子をご覧ください。
(謙信さんの応援ソングもアップしています)



HAMAKITATOKUSHI.OFFICIAL

防災研修 ～マンホールトイレ設置訓練～

8月29日（金）、地域住民の方々とともに、防災意識の向上と実践的な対応力の向上を目的とした、マンホールトイレ設置訓練を実施しました。マンホールトイレの組み立てや、組み立て後の点検、使用手順などを、互いに声を掛け合いながら行うことができました。



地域の方々と協力合って、組み立て作業をしました。



説明書を読んだり、声を掛け合ったりしながら行いました。



完成後も気づいたことを伝え合いました。

小学部

～ケヤキの会の方との活動～

小学部6年生は、毎週水曜日の下校時に実施している挨拶運動と、生活単元学習で取り組んできたエアホッケーやグランドゴルフの学習に、ケヤキの会の方を招待して活動と一緒に取り組みました。



ケヤキの会の方と一緒に、大きな声で挨拶運動に取り組みました。



ケヤキの会の方との対戦は、大変盛り上がりました。



活動の最後に、一緒に記念写真を撮影しました。

中学部

～地域防災について学ぼう～

中瀬4区の防災倉庫や、避難所として活用される中瀬西部自治会コミュニティーセンターについて、けやきの会の自治会長さんと副自治会長さんにお話を伺いました。生徒たちからの質問に答えていただいたり、非常食やソーラー発電機の説明をしていただいたりすることで、地域の防災について学ぶことができました。



中瀬西部自治会コミュニティーセンターへ行きました。



防災倉庫の中身を見せていただきました。



自治会に備蓄してある非常食やソーラー発電機の説明を聞きました。

高等部

～浜名高校文化祭・作業製品展示会～

6月5日（木）に浜名高校との交流を行ってきました。6月6、7日に浜名高校の文化祭が開催され、本校自主生産作業で製作された製品を展示してもらいました。浜名高校へ搬入をする際、本校高等部1年生各班代表1名ずつの計5名が、浜名高校の生徒と交流を深めました。



作業動画を浜名高生に見てもらいました。



緊張した面持ちで、製品の説明を丁寧に行いました。



無事展示準備ができました。短い時間でしたが、とても良い交流となりました。